


1. 総論

【総括判断】「管内経済は、緩やかに持ち直している」









項目	前回（4年4月判断）	今回（4年7月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	

（注）4年7月判断は、前回4月判断以降、7月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、緩やかに持ち直している。生産活動は、供給面での制約もあって、持ち直しのテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

【各項目の判断】

項目	前回（4年4月判断）	今回（4年7月判断）	前回比較
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、横ばいの状況にある	緩やかに持ち直している	
生産活動	供給面での制約の影響がみられるものの、持ち直している	供給面での制約もあって、持ち直しのテンポが緩やかになっている	
雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある	緩やかに持ち直している	
設備投資	3年度は前年度を下回る見込み	4年度は前年度を上回る見込み	
企業収益	3年度は増益見込み	4年度は減益見込み	
企業の景況感	「下降」超に転じる	「下降」超幅は縮小	
住宅建設	前年を上回る	前年を上回る	
輸出	前年を上回る	前年を上回る	

【先行き】

先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動の正常化が進む中で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、ウクライナ情勢の長期化や中国における経済活動の抑制の影響などが懸念される中での原材料価格の上昇や供給面での制約に加え、金融資本市場の変動等による下振れリスクに十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「緩やかに持ち直している」

業態別にみると、家電販売は、エアコンなどが好調であるものの、テレビなどの需要に落ち着きがみられ、前年を下回っている。乗用車販売（新車登録・届出台数）は、需要は高いものの半導体不足の影響により、普通乗用車、小型乗用車、軽乗用車いずれも前年を下回っている。外出機会の増加に伴い、百貨店販売、スーパー販売は、衣料品などが好調であることから前年を上回っている。ドラッグストア販売では化粧品などが、コンビニエンスストア販売では食料品が好調となっており前年を上回っている。これらのことから、個人消費は、全体では緩やかに持ち直している。

（主なヒアリング結果）

- 省エネタイプの商品への買い替え需要でエアコンが好調であった一方、巣ごもり需要の落ち着きによりテレビが不調となっているほか、テレワークやGIGAスクールなどで普及が進んだパソコンは需要が落ち着いてきている。（家電量販店）
- 行動制限がなかったGWを中心に来店客数が増加し、外出機会の増加もあって、これまで不調であった衣料品や靴、靴などの身の回り品などの売上が回復している。（百貨店）
- 外出機会の増加により衣料品の売れ行きが好調。気温の上昇により夏物衣料も好調となった。（スーパー）
- 行楽需要の高まりから日焼け止めや乗り物酔いの薬などが好調となっている。（ドラッグストア）
- ドライブ需要関連商品であるおにぎりやファストフードの販売が好調。特に週末にかけて来客数が増加した。（コンビニエンスストア）
- 半導体不足や東南アジアからの部品調達の遅れなどの供給面の制約を受けて完成車メーカーが減産しており、納車の遅れが続いている。（自動車販売）

■ 生産活動 「供給面での制約もあって、持ち直しのテンポが緩やかになっている」

化学は、インフラ向けなどで需要が堅調であることから、増加している。電気機械は、スマートフォン向けなどで需要が堅調であることから、増加している。一方、輸送機械、汎用・生産用・業務用機械は、半導体などの部品供給不足の影響がみられることから、減少している。鉄鋼は、自動車向けなどで需要に弱い動きがみられることから、減少している。このように、生産活動は、全体では、供給面での制約もあって、持ち直しのテンポが緩やかになっている。

- 経済成長を続けるインドなどで新型コロナウイルス感染症の感染が落ち着き、海外インフラ向けで需要が回復していることから、フル稼働となっている。（化学）
- スマートフォン向けなどで5G関連の電子部品需要が堅調なことから、高操業の状態が続いている。（電気機械）
- 上海市のロックダウンの影響による部品供給不足の影響は、緩和されつつあるものの依然として続いているほか、半導体不足も続いており、部品の調達状況に応じた生産となっている。（自動車）
- 経済活動の再開に伴い、国内外で需要が回復しているものの、半導体等の部品調達に支障が出ている影響を受け、生産量が減少している。（生産用機械）
- 物流関連施設の建設など、建材向けの需要は高まっているものの、半導体などの部品調達難により、完成車メーカーが生産量を減少させている影響を受け、自動車向けなどの需要が弱まっている。（鉄鋼）

■ 雇用情勢 「緩やかに持ち直している」

雇用情勢は、製造業、非製造業ともに新規求人数が増加していることや、有効求人倍率が上昇傾向にあることなどから、緩やかに持ち直している。

- 自動車メーカーの生産が回復した際に備え、正社員の募集を継続して行っている。（自動車）
- 行動制限の解除により、飲食店に応募者が流れたため、採用が困難な状況がみられてきている。（ドラッグストア）
- 宿泊客、観光客の増加を受けて人手不足に転じており、コロナ禍の2年間に人員補充を行えなかったことによる影響が顕著に現れている。（宿泊）

- **設備投資** 「4年度は前年度を上回る見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」4年4-6月期
- 製造業では、「石油・石炭」などで減少するものの、「化学」、「情報通信機械」などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。
 - 非製造業では、「農林水産」などで減少するものの、「小売」、「金融・保険」などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。

- 前年からの持ち越し案件や脱炭素化に向けた設備投資を実施。(化学)
- 物流拠点の整備のための設備投資を実施。(小売)

- **企業収益** 「4年度は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」4年4-6月期
- 製造業では、「生産用機械」、「鉄鋼」などで増益となるものの、「化学」、「木材・木製品」などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
 - 非製造業(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)では、「小売」、「建設」などで減益となるものの、「医療・教育」、「その他のサービス」などで増益となることから、全体では増益見込みとなっている。

- **企業の景況感** 「『下降』超幅は縮小」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」4年4-6月期
- 企業の景況判断BSIは、「下降」超幅が縮小している。なお、先行きは「上昇」超に転じる見通しとなっている。

- **住宅建設** 「前年を上回る」
- 新設住宅着工戸数でみると、持家が減少しているものの、貸家、給与住宅などが増加していることから、前年を上回っている。

- **輸出** 「前年を上回る」
- 輸出(円ベース)は、自動車などが減少しているものの、鉄鋼、石油製品などが増加していることから、前年を上回っている。地域別では、中東欧・ロシアなどで減少しているものの、アジア、中南米で増加している。

なお、輸入(円ベース)は、原油及び粗油、石炭などが増加していることから、前年を上回っている。地域別では、中東、大洋州などで増加している。

3. 各県の総括判断

	前回(4年4月判断)	今回(4年7月判断)	前回比較	総括判断の要点
鳥取県	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	持ち直しつつある		個人消費は持ち直しつつある。生産活動は供給面での制約の影響がみられるなか、横ばいの状況にある。雇用情勢は持ち直しつつある。
島根県	感染症の影響が残るなか、緩やかに持ち直している	感染症や供給面での制約の影響がみられるものの、持ち直している。		個人消費は感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は一部に弱い動きがみられ、足踏みの状況にある。雇用情勢は感染症の影響が残るなか、持ち直している。
岡山県	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	持ち直している		個人消費は、持ち直している。生産活動は、持ち直しつつある。雇用情勢は、緩やかに持ち直しつつある。
広島県	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している		個人消費は、緩やかに持ち直している。生産活動は、供給面での制約もあって、持ち直しのテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。
山口県	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直している	持ち直している		個人消費は、緩やかに持ち直している。生産活動は、一部に供給面での制約の影響がみられるものの、持ち直している。雇用情勢は、持ち直しつつある。